

GTR SDGs セミナー

世界的ビーガンシェフ と 野菜の機能性表示の第一人者 の提言

野菜のチカラを考える：野菜を科学する

我々の健康を支え、食を彩る「野菜」。野菜を科学する重要性を、世界的ビーガンシェフと野菜の機能性表示の第一人者から提言していただきます。

日時 12月20日 15:00~17:15
場所 生命農学研究科 第8講義室
(オンライン配信あり)

【第1部】 プラントベースにおける世界の食市場

ONODERA GROUPエグゼクティブシェフ 杉浦仁志

LA・NYCのミシュラン星つきレストランで感性を磨き技術を習得。2014年から2年連続で、ニューヨーク国連大使公邸で開催された、安倍元総理はじめ世界の要人が集った国連日本代表団レセプションパーティーにて、日本代表シェフを務める。国内外で培った国際的な食経験を通じ、日本におけるヴィーガン・プラントベースの第一人者として活躍。多数の受賞歴を持つ。現在「Social Food Gastronomy (ソーシャル・フード・ガストロノミー)」を提唱し、より多角的な視野から社会貢献とイノベーションを国際舞台で展開。2050年に向けた次世代のシェフモデルとして注目される。



【第2部】 野菜のチカラ

～健康を目指す抗酸化研究による野菜の販売～

一般社団法人 食と農の生命科学研究会 代表理事 丹羽真清

大学卒業後食品メーカーに入社。30歳で独立し「食のコーディネーター」として、食品メーカーのコンサルティングを行う。野菜と食の研究を行うため、デザイナーフーズ(株)設立。現デリカフーズホールディングス(株)代表取締役社長。退任後、社団法人「食と農の生命科学研究会」設立。長年、野菜・果実の抗酸化研究を行い、野菜の中身の機能性を消費者に伝える販売をしたいと考えている。非破壊で野菜の抗酸化力を測定できる機械のソフトを開発。野菜の成分の価値に価格を付け、機能性をPOPで表示し、生産者・流通関係者・販売者・消費者のリテラシー向上を目指している。

【参加登録】

12月18日(日)までに、以下URLより登録をお願いします。

連絡先：GTR学生支援室
TEL: 052-789-2954

E-Mail: gtr@itbm.nagoya-u.ac.jp

<https://forms.gle/74HL8n9sFzRhzhqg6>

*参加登録なしでも、当日会場に来て
参加いただくことも可能です

世話人：白武勝裕 [生命農学研究科]



2万サンプル以上の野菜を
分析してわかったこと

おいしいものは
体にいい

丹羽真清

